

Osaka Metro まちさんぽ

南巽駅

90分
コース

千日前線 南巽駅

仁徳の堤・万葉の里

平野川に開けた^{たつみ}巽村は万葉歌の里

このあたりは旧大和川から枝分かれして河内国を北流した平野川と長瀬川に挟まれた平野で、湿地、沼地が多くありました。江戸時代の大地村、四条村、西足代村、矢柄村、伊賀ヶ村が明治の町村制で合併して名前をつけるときに、大阪城の巽の方角(東南)にあたるので巽村としました。



スタート駅	約 90 分									ゴール駅	
千日前線 南巽駅 ③号出口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	千日前線 南巽駅	
	巽神社	楠正長史跡公園	平野川・平野川分水路	中央卸売市場	東部市場	定願寺	四条天神社跡	田島神社	万葉歌碑 横野堤・横野神社跡	腕屋久右衛門 円徳寺	

『万葉集』に詠われた横野堤は、仁徳天皇が築いた堤防でした。太古にこのあたりを流れていた橘川(古平野川)の氾濫をくい止めるために造成されたといわれています。鎌倉時代の公家・藤原光俊が「霜枯れの横野の堤風牙えて 入り汐遠く千鳥鳴くなり」と詠んでいます。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

南巽駅

90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

千日前線 南巽駅

仁徳の堤・万葉の里

平野川に開けた^{たつみ}巽村は万葉歌の里

このあたりは旧大和川から枝分かれして河内国を北流した平野川と長瀬川に挟まれた平野で、湿地、沼地が多くありました。江戸時代の大地村、四條村、西足代村、矢柄村、伊賀ヶ村が明治の町村制で合併して名前をつけるときに、大阪城の巽の方角(東南)にあたるので巽村としました。

スタート駅

約 90分

ゴール駅

千日前線南巽駅③号出口

千日前線南巽駅

1 巽神社

かつて大地村の八幡宮であった神社で、集落ができた中世のころの創建とされています。明治40年(1907)の神社合祀令で近隣の氏神が合祀されて新しい村名から巽神社となりました。7月15日の夏祭と10月15日の秋祭には旧村から4台の地車と1台の布団太鼓台が曳かれます。



2 楠正長史跡公園

この場所は旧四條村の氏神天神社でした。室町時代初期、楠正成の孫・正長が本願寺に帰依して名を定願と改め、ここに隠棲して97歳で去りました。



3 平野川・平野川分水路

平野川は柏原市で大和川から引水し、北上して寝屋川に注いでいます。百済川、河内川とも呼ばれていました。大和川付け替え以前は川幅も広く、大坂城の京橋と柏原を柏原船が往来していました。大雨による氾濫が多発したので、30年かけた工事で昭和33年(1958)に分水路が建設され、氾濫は激減しました。



4 中央卸売市場 東部市場

福島区の本場が手狭になったために、昭和39年(1964)に完成した青果・水産物と加工品の卸売市場です。施設の拡張と整備を繰り返して、取扱高全国第9位にもなった大規模集積市場です。



5 定願寺

旧四條村にありましたが、明治になってここに移転しました。楠木正長が本願寺巧如上人に帰依して門徒僧・定願となって創建しました。石山合戦で大坂本願寺を攻めた織田信長の軍勢により寺は焼かれましたが、やがて再興されました。阿弥陀仏を本尊とし、定願が彫った木造仏も安置されています。



6 四条天神社跡

古くは河内国四條村の氏神で、巽神社に合祀されたうちの1社です。遷葬所の標石が残っています。



7 田島神社

もと摂津国田島村の氏神で、天神社と呼ばれていましたが、明治42年(1909)に田島神社と改称されました。明治18年(1885)の淀川大洪水で古記録などが散逸し、現在は後陽成天皇直筆の神号の軸と烏の餅杵一組が残っています。かつてこのあたり一面が田圃で、その中に集落が島のように出現したので、田島村と呼ばれるようになったそうです。



8 横野堤・横野神社跡・万葉歌碑

この付近は『日本書紀』の仁徳紀に記されている横野の堤のあった場所とされています。ここは橘川(古平野川)の右岸にあたり、河川の氾濫をくい止めて、内海(河内湾)への土砂流入を防ぐために築造されたのではないかとわれています。また、『万葉集』に「紫の根延ふ横野の春野には君をかけつつ鶯鳴くも(詠み人知らず)」と詠われ、紫草の白い花が咲く川堤の情景が目につかびます。横野神社は河内と摂津の境界にありました。



9 円徳寺・椀屋久右衛門

室町時代、この地の地侍・上場又三郎正欽が本願寺の蓮如上人に帰依して、その邸宅を道場にしたのがはじまりです。石山合戦のとき、村人「大地衆」を率いて本願寺に駆け付けた円徳寺四代目了法は合戦で戦死しましたが、頭如上人から感状を得て、歴代住職が頭の子の使用を許されました。また、大坂の豪商で、新町遊郭で豪遊して座敷牢に入れられ、錯乱して出家した椀屋久右衛門が剃髪した寺です。井原西鶴の『腕久一世の物語』に描かれ、椀屋が寄進した朱塗りの椀家具一式が残っています。門内へはインターフォンでお尋ねください。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2020年6月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

発行: Osaka Metro

協力: 一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.info

後援: 歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの(ガイド付きまち歩き)については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

